

平成21年9月8日（火）

（午前10時30分 再開）

○議長（中西峰雄君） それでは休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番8、9番 上田君。

〔9番（上田良治君）登壇〕

○9番（上田良治君） 皆さん、おはようございます。昨日、木下市長におかれましては任期満了において来年とり行われる橋本市長選挙に力強い出馬表明をされたことに対し、心より敬意を表します。また、再選に向けての政策実現においては、活力みなぎるまちづくりを今後とも推し進めていくという力強い熱意をいただき、期待するとともに、このことの実現に向け力を注いでいただきたくお願いを申し上げる次第であります。今後とも市民の期待を裏切ることのないよう、健康には十分留意をしていただきまして、再び市民の声にこたえられますよう心よりお願いを申し上げます。

それではこれより一般質問をさせていただきます。通告に従い質問します。市有財産の活用についてということで、この1点質問させていただきます。

隅田村役場跡、合併により橋本市の市有財産の活用については、現在隅田中央商店街新興組合が市と市有財産の賃借契約を交わし、無償により平成20年12月12日から本年の10月31日までの間貸し付けをしていただいている次第であります。このことに至った経緯は、当商店街が毎年10月に開催している隅田門前いちによるイベントのうち、2年前に開催いたしました門前歴史写真展、それと去年開催いたしました門前歴史道具展が、ご来賓の市長をはじめとする来客者などに大変好評をい

ただき、前の伊都新興局長や市長が、このまま解体してしまうのはもったいない、素人ながらよくできている、郷土資料館にもない貴重なものもあるので幅広く地域の方や市内外の方に鑑賞してもらえるようにしたらどうよ、私のほうから担当部長に話しておくからそうしたってよと提案をいただき、当商店街が予算を新たに20万円をつけ、レイアウトや品数を増やし、門前歴史道具館と名を改め、地域の小学校3年生の体験学習や老人会などの皆さん方の見学など、ハイキング者のトイレ休憩も兼ね、あわせて幅広く利活用をしているところでもあります。

しかしながら、聞くところによると、市のお考えは当商店街との契約期間後に解体して売却する計画であるということです。この市有財産の建物を活用して開催している門前歴史道具館は今日の隅田町が形づくられるまでの歴史や民族、考古資料を後々まで伝え残すために、また人の心が薄れつつある時代に、子どもたちに先祖から続くすばらしい心と知恵の歴史を残していくことがどれだけ大切なことかと考え、開催をしております。末永くこの魅力を守り、さらに磨き魅力あふれる地域をつくるとともに、市内外から訪れる人々を温かく迎え、心と心の交流を通じていやしや楽しみ、感動を提供していくことがこのすばらしい郷土に住む私たちの重要な役割であると同時に、私たちの誇りであります。また、当該施設は地域のコミュニティ拠点として活用しており、観光振興にも大きな役割を果たしております。

以上のことから、商店街の活性化や観光振興に打撃を及ぼすような計画は即刻中止いただきたい。市が耐震補強をして当商店街に移

行され、協働によるまちづくりとにぎわいのある観光振興が市有財産を通じて今後とも活用できるよう計画の見直しをお願い申し上げる次第であります。

これで私の第1回目の質問を終わります。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君の一般質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長（中山哲次君）登壇〕

○総務部長（中山哲次君）それでは、市有財産の活用についてお答えさせていただきます。

議員ご指摘のとおり、旧隅田出張所についてであります。当該施設につきましては昭和30年の市町村合併において、橋本市の施設として引き継ぎ、旧出張所、学童保育、集会所として利用されてきた施設であります。また、現在は門前歴史道具館として各種展示され、予約を受け付け開館をされていること、来館者の意見をノートに書いていただいているなどの活動は十分認識しているところでございます。

おただしの隅田中央商店街振興組合との当該施設の利用における契約におきましては、地元中島区との協議も踏まえ、ご指摘のとおり本年10月末までとさせていただいているところでございまして、市といたしましては施設の老朽化、安全性などを考慮しますとともに、財政厳しき折、行政改革の観点からも当該財産におきましては処分してまいりたいと考えているところでありますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君、再質問ありますか。

9番 上田君。

○9番（上田良治君）今、総務部長から従来の気持ちは変わらないと、この10月末商店街との契約後については解体をしたいというような答弁をいただきました。

市有財産を売却する計画というのは、本来から市のほうで答申の計画を立てていると思うんですが、今回の隅田村出張所の売却計画については、我々が今使用していると。その前にもいろいろと活用している中で、今回の役場跡の売却の計画はいつ頃、だれがどのような判断をして決められたんですか、この計画については。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）まず、この計画につきましては平成20年4月段階で行政改革推進本部ということで、橋本市未利用地処分等に関する第1次総合計画、この中で位置付けをされておりまして、行政財産の中の全部で9カ所あるわけでございますけれども、その9カ所の中の一つとして平成21年度には普通財産のほうへ変更を行いまして、処分をしていくという位置付けでございます。

（「答弁もれ」と呼ぶ者あり）

○議長（中西峰雄君）9番 上田君、指摘してください。

○9番（上田良治君）いつ頃はわかったんですけど、平成20年4月、だれが決められたんですか。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）市内部組織でございます橋本市の行政改革推進本部の中に諮りまして、その本部の中で方向付けを決めさせていただいたということでございます。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）内部組織を言っていたんだけど、固有名詞がなかったんですが、この計画についてはどこまで十分この施設、それを使われている、それを核としているんなイベントをしてきておる、そういったものをどこまでつかんで解体計画を出されたのか。だいたい商店街の活動を理解した上でこの計画を組織の中で立ち上げられたん

ですか。このこと、現場を見ていただいているというか、その組織の方、今使っていない市有財産は売却したらいいと思うんですけど、でも活用しとる行政財産まで売却をしていくというのはいかがなものかなど。何も説明なしに平成20年4月、説明なしに今回そういうことを言われても、これは戸惑うばかりであります。これについてはどんな調査をされたんですか。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）特段調査というよりは、この本件に関しましては以前から上田議員のほうからも、また経済部のほうからも門前市場等々の活動状況なり、それについては先ほども上田議員ご質問の中でも述べられていた内容については、私どもも把握をさせていただいておりますし、私自身も現地の建物の中へも入らせていただきまして、今現在建物の状況がどうであるかというふうなことも私なりに認識はさせていただいております。

ただ、そういう状況の中で、経済部のほうでも商工関係の活動状況というものは認識をしております、経済部長とも横の会話もさせていただいております。ただ、耐震改修をしてという話なんです、やはり市としましても限られた財源の中で、今現在小・中学校も含めまして各公共施設の中では、早急かつ緊急に耐震改修を行うべき施設がたくさん山積みとなっておりますので、やはり市の限られた予算の中で緊急度、優先度等を踏まえて小・中学校をまず優先していく必要があるということの中で対応しておりますので、そういった中でやはり9カ所の財産につきましては非常に、地元から言われますと私ども立場上苦しいわけですが、やはりこの未利用地等の処分に関する第1次総合計画によりまして、売却

等の検討を進めさせていただきたいということでございます。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）地域から解体要望も出ておりませんか。また、それどころか存続の要望を今回商工会議所、また当商店街を通じて提出をしておるところなんです。そういったところについて解体していくというのは、解体費用がいくらかかるのか知らんけれども、かなりの費用が要るんじゃないですか。そしてまた入札をして売却になってくると思うんだけど、そういったことをしても1,000万円弱になってくるでしょう。だいたい評価額としたら1,500万円かどうか知らんけれども、解体費用を引いたら、1,000万円弱のお金を出して、そしてまたそのお金、何に使うのか知らんけれども、商店街にいただけるわけじゃないし、新しいものをつくってくれるわけでもありません。だから、目先の入ってくるお金よりも将来失われてしまう重要性の比較というものを、きっちりと重みをとらえていただきたいと思います。そしてやはりこの隅田商店街というのは、橋本市でもいろいろと商店街がございますけれども、活力あるというか、元気な商店街ということは理解させていただいております。なぜ隅田商店街が今まで元気でやってこれたかというのは、やはり商店街の中というか、地域のコミュニティの中心的なところに今回解体される格納庫があったわけ。これを利用して我々はいろんな商店街、年4回歩行者天国にしているいろいろと夜店、門前夜市、門前いち、そういったものを開催しておりますので、これは市から補助金も何もいただいていない。自分たちの力でやっておるんだ。そういったところで、こういう中心的に活用している格納庫をたたくというのは、今後の商店街の活性化に大きな打撃を私は与えてしまうんじゃないかなと、そ

ういうことを非常に懸念しております。そして、何といたってもこの土地は隅田村役場跡が昔。隅田村役場は合併によって市の市有財産、行政財産になったんやで。せやけどこれは、垂井の前村長さんのご厚意で、隅田地域の活性化のために使ってくださいよと寄附した土地なんやで。寄附された土地をそういった市の借金返しとか何か知らんけれども、そういったことで解体して売却すると。一時的な収入を得るのかどうかわからんけどね。そうしたことをしていくということは、今後の市のためを思って寄附してくれる人もいろいろおるけれども、そういった行為を踏みにじってしまうことにもなってくるんじゃないですか。だから行政財産について9カ所あるその一つだと思っただけけれども、何でもかんでも売却していくんだと。それは計画的にはわかるんだけれども、やっぱり活用しているというのまで売却してしまうというのは、これは大変橋本市の今後の未来について私は非常に悲しいです。寄附してくれる人の、いろいろあるわ。物品でもな。金屏風でもございますよ。そんなものでも売却していったらええんかと。そんな問題と違うと思うんでね。その辺のところも十分に検討していただいた上で計画を立てられたのか。そういったことで、やっぱりこれについてはきっちりともう一回ちゃんと見直していただいて、売却するところと残すところときっちり精査してほしいなと思いますけれども、いかがですか。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）以前から、この件に関しましては上田議員とも何回となくお会いをさせていただいて、地元の事情なり商店街の振興という話も何回となくお聞きいたしてございます。そういうことの中で私もこういう答弁をするのは非常に心苦しいところがあるわけでございますが、やはりこの旧の出

張所でございますけれども、仮にお使いしていただくとなりましても、万が一地震等大きな災害があったときに、耐震補強と建物の所有者、管理者としてののといえますか、橋本市としての所有者責任、管理者責任が発生してまいります。そういった裁判例も全国的には発表されておるわけでございますが、やはり今の時点では処分という方向で考えておりますので、ご理解のほどお願い申し上げたいと思います。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）耐震についてというのもお話を今いただいたんですけども、これについては市のほうも貸す以上、やはりそういった耐震補強、地区も古いのはわかっていらして、何かあったらいかんということで心配していただいていると思うんですけども、これについては私らもいろいろと商店街の中で話し合いをしました。そういった中で、耐震についてはいろいろお世話になった方がございまして、前衆議院議員の安井潤一郎さんという方がおられまして、この方は東京の早稲田商店街の会長も務められていたということもありまして、ホームページでいろいろメールで私とやりとりをしているうちに、当商店街の現状も一回見に行こうやないかということをお話いただきまして、今年の5月にこの商店街の活動に関する現場を見ていただいて、門前歴史道具館も見させていただきました。そういった今回の地域活性化、商店街活性化法案の補助事業の説明もいろいろとお話を受けた後、商店街からは現在市からお借りしている歴史道具館なんですけど、耐震性が貧弱なので10月末をもって閉館になって、この場所を解体されて更地にされるんだと、そういうことをお話ししますと、その中で安井潤一郎さんから、国土交通省の補正予算の中に地方公共団体の建物の場合、国が2分の1、残り2分

の1が地方公共団体で賄うという地方公共団体負担分の90%が交付金で補える事業があるという説明を受けたんです。このことを具体的に言いますと、耐震改修工事に1,000万円の費用がかかったとします。1,000万円の費用がかかったらその2分の1、これを国が出していただけると。その残りの500万円については500万円の90%が地方交付金で補えるというありがたい補助事業の説明を受けたんです。地元自治体というのは残りのだいたい50万円ぐらいで済むでしょう。これで安全・安心な地域のコミュニティの核が持てたら大変ありがたい制度であるということなんですが、このことについても総務のほうにお知らせしたんですが、担当課としては今後もう解体するということの計画を立てている中で、今回こういうお話をいただいても検討の余地はないと。そういうお答えもいただいているんですが、それでは商工振興も観光振興も本当に口出しだけの金もうけ主義のぶち壊し屋みたいなものになってしまうということで、今後については一生懸命取り組んでいる商店街を支援するというのが本来のあり方と思うんで、このことについてはやっていただけませんか。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）今、議員おただしの補助算定額、単なる2分の1というのはまず間違いございません。ただし国庫補助の基準額等がありまして、まず私どもの大野児童館も耐震をやっております。それにつきましては設計額で約1,500万円、その中で補助基本額というのが平米当たりいくらというのがございまして、それで算出しまして対象比率を掛けた中で国土交通省の申請額がこの設計額に対して、1,500万円に対して150万円という補助金でございまして、まず設計額イコール2分の1という解釈ではございません。まず国の基準の中でいけば1,500万円かかるやつに

つきましては約10分の1の国庫補助の程度とっております。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）いろいろとおっしゃられるんですが、私どもとしては市が管理している以上、やはりそれなりの耐震補強をしていかならんと。何千万円要るかそれはわからないけれども、何百万円で済むかもわからん。しかしうちの家からいいますと、昭和4年築やで。ほんならこれはもう80年からたっている。うちらかて何も今耐震もせんと生活しとるんやで。だからうちらに移行していただいたらそれなりの金額で済むと思うんよ。木造ですので、このつくりは。大工さんに言って柱をたすきにかけて見ばえが悪いかわかんけれども安くつくと思うよ。

解体費も何ぼ要るかまだ明示されていないんやけれども、そういった中で今回は本当に我々としても昔の歴代村長さんから例によって寄附していただいた土地を、何とか隅田地域の活性化のために使用していきたいという気持ちは、皆思いは一つなんですわ。

だからこれについては市長、ちょっとお聞きいたしますけれども、この施設は何回も言うけれども、商店街の核となっておるんですな、今まで。核となっている。イベントには欠かせない重要な場所になっているし、長年にぎわいをもたらしてきた中心が、イベントのすべての七つ道具というかな、我々の、それをここに集約、収納しとるんですわ。だから今までやってこれた。だから今新しい建物を建ててくれとか、そんなことは全く言っていないんです。今後とも我々がボランティア活動、地域の皆さんと協働で取り組めるような核を残してもらいたいんですわ。だから今の施設を補強して、市のほうでしていただけたら国土交通省の補正予算、今言わせてもらったし、商店街に移行してくれるん

だったらこちらで維持管理、いろいろもろもろ要ってくるもの、それから改修、耐震工事、そういったものも商店街でやっていきますよ。だからどうですか。今までどおり使わせてほしいんです、我々としては。それが願いなんです。私の言っていることは間違っていないと思うんで、何もかもなくすというのはやめてもらいたいということで市長、どうか最後に前向きな答弁をいただきたいと思います。

○議長（中西峰雄君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）9番 上田議員の再質問について答弁をさせていただきます。

非常に情熱のこもったご発言でございまして、私も隅田の商店街のあの祭りには何度か寄せてもいただきまして、非常に建物は古いですが、100年以上ですね。ところが、中で展示されておる資料館、これは私もああいう形のをいくらかしているのによくわかっているんですけども、本当に丹精込めて時間をかけてしておるということはもう重々承知してございます。

しかし、あの建物そのものの建造物としての価値観の問題からすると、行政としてやはり耐震をきちっとやっていくというところまでは及ばないなど。橋本の市街地にも相当古い建物があるわけでございますけれども、それらと対比しまして、そういう点は非常に私も感じるわけでありまして。しかし、去年からのああいう世界的な金融不況、商店街、商工が非常に圧迫されて、これらについて本当に私どもも頭を痛めておるのが事実であります。非常に橋本市内の商店街は、高野口も闊達にやっていただいておりますけれども、特に旧橋本では隅田ですよ。今橋本はあんな状態で再開発をやっておるわけでありまして、本当に門前の商店街の皆さんというのは熱意をかけられて一致団結をして取り組まれておる。こ

れは本当に敬服しておるわけでありまして。

私としても非常にその熱意のこともございますし、今本当に厳しい商業関係の状態にかんがみまして、何とか責任は商店街との覚書を交わして再度、そして当分の間商工の振興がもとへ戻ったよという晴れ姿を見るまでの間というのか、それはいつとは言えませんが、そういう中でお使いをいただいて、商店街の救済の一助にしていただければいかなものかなと思っておるわけでありまして。ただし、これらにつきましても、私も上田議員とも何度もこのことは話し合いをしておるんですが、大勢の商店連合会でありますので、基金をおつくりになって、そして買い取りをしていくのか、あるいは場合によってはあれを商店街サイドで、筋交いとか補強をある程度していくとか、市でやりますと先ほど部長からも答弁したような形になりますので、そこはきょうのたびは当分の間補強し、そして責任は商店連合会にあるという形の中で覚書を交わしていてもいいのではないかな、そういうことでありますので、聡明な議員の皆さんのご判断もしていただいて、答弁とさせていただきます。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）前向きなお答えをいただきましてどうもありがとうございました。

そしたら、これは10月末で商店街の期限が切れます。その辺はまた総務部長、また延長なりしていただけるということでもよろしく。それだけお答えいただいて、今市長もこういう答えをいただきましたのでよろしくお願ひします。

○議長（中西峰雄君）答弁は要りませんか。

○9番（上田良治君）いや、一言だけもらっておきます。

○議長（中西峰雄君）先ほどの市長の答弁でご理解いただけませんか。

○ 9 番（上田良治君）信頼させていただきま
す。

○ 議長（中西峰雄君）これをもって、9 番 上
田君の一般質問は終わりました。